

令和 7 年度第 2 回印西警察署協議会

1 開催日

令和 7 年 9 月 1 7 日（水曜日）

2 開催場所

印西警察署

3 出席者

・協議会委員 1 1 人 ・警察署 1 1 人

4 業務報告

（1）令和 7 年 8 月末現在の管内の犯罪発生状況について

（2）令和 7 年 7 月末現在の交通事故発生状況等について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】管内の速度取締り指針について

【答申】なし

【諮問】高齢者対策を効果的に推進するための手段・方法等について

（1）高齢者の犯罪被害を防止する対策

【答申】現在取り組んでいる施策を引き続き推進して欲しい。

民生委員など関係機関と連携した活動、防犯講話、寸劇、コンビニや A T M
での声掛け、S N S の活用などを引き続き推進する。

【答申】詐欺被害等の事例を基とした、体験学習やアプリケーションを作成・配布等
を行い、リアリティのある体験を通して危険性等を学習する。

【答申】地域と密着した身近かで気軽に相談できる場所（窓口）を設け、相談員は、
社会福祉協議会から派遣し、月 1 回、2 名の相談員で対応する。

【答申】標語や川柳、日めくりカレンダーの配布などで防犯意識を広める。

（2）高齢者の交通事故、交通違反等を防止する対策

【答申】各委員から現在取り組んでいる施策を引き続き推進して欲しい。

免許証返納は行政とタイアップ、高齢者事故発生状況の分析、高齢者に対す
る交通安全講話の実施、青パトによる広報などを推進する。

【答申】高齢者も含め全員が分かる標識やピクトグラムの設置、印西警察署管内の交
通違反頻出 M A P 等で加害者、被害者どちらにも周知する。

【答申】高齢者（7 0 歳以上）を対象として運転前の安全確認と安全意識の向上のた
め、車両内に安全確認用の音声機器を設置し、基本的な安全確認（前後左右の
確認、落ち着いて運転する。）などの音声による呼び掛けが出来るようにする。

【答申】歳を重ねると頑固になる。身近な人（家族）が、きちんと対処する。

（３）協力できること（諮問（１）、（２）共通）

【答申】当社商業施設では、毎年たくさんのイベントを実施し、高齢者本人だけではなく、幅広い年齢層への啓蒙活動を行うことができ、周囲の人にも防犯意識を高めることができる。より多くの目で高齢者を見守ることは、地域での犯罪抑止に繋がるので、当社やイベントを活用してもらいたい。

6 委員からの要望・意見等

【質問】詐欺被害に遭ったと思ったら、どうすればいいか？

【回答】犯人からの電話に出ないことです。

振り込んでしまった、手渡してしまった、お金を取りに来るなど急を要する場合は、迷わず１１０番通報をする。

犯人は口座にお金が振り込まれたらすぐに引き出しますので、時間とともにお金を取り戻すことが難しくなります。場合によっては、犯人が押しかけてくる可能性もありますので、一時的に避難することも検討してもらう場合もあります。

ます。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

（１）委嘱状の交付を実施した。

（２）クイックアームの説明、体験を行った。